

森林整備Ⅲ

現地実習（間伐等）

日時：平成24年11月3日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



実習（人工林の整備）

○森林整備活動の準備と手順

1 作業前の準備

自分の身を守り快適に作業するため、服装は、袖じまり裾じまりのよいものを着用する。また、ヘルメット、皮手袋、なた・鋸等の道具や伐採用の道具（ロープ、ハシゴ、木廻し等）の準備と確認も行う。

2 作業の手順

木を切る前に、木を切倒す方向を決め、受け口の位置の確認と伐採木の周辺の雑木等の除去、自分の退避方向の確認を行う。

伐倒にあたっては、かかり木（周りの立木にかかる危険な状態）にならないよう、あらかじめ伐倒木にロープをかけ、伐倒方向に引く準備をする。そして、木を切り倒す方向に受け口を作り、反対方向から受け口に平行に追い口を切り進める。木が倒れる前に周囲へ声、笛等で知らせる。

○実践

受講生が2グループに分かれ、以下の工程を経て、間伐作業を実践した。

- ・作業場所の設定
- ・樹木の密度調査と密席管理図を使って、選木本数(伐採本数)の決定
- ・選木(伐採する木を選ぶ。細い木、曲がった木等を中心に)
- ・選木した木をテープでマーキングし、伐採、玉切り、枝払い、整理
- ・伐採後の空間の空き具合の確認